

1 事業内容

団体名	くしろ元町フットパスを広め隊
事業名	地域住民が活躍するフットパス・ガイドシステムの構築
課題テーマ	地域経済の活性化
事業目的	フットパスという歩く活動を通じて、地域住民自らの手で持続可能な地域を作っていくこと、そしてその地域の福祉と経済（観光）を結びつけることを目指す。 その仕組みとして地域の住民、特に高齢者が自身の経験を生かして地域のガイドとして活躍することができるフットパス・ガイドシステムの構築を目指す。
事業内容	・美里フットパス協会（熊本県）を釧路へ招待、合同フットパス・講演会の開催 ・ウォーキング・ネットワーク形成に向けて他団体と交流 昨年同様、ガイドシステム構築やガイド育成に向けて、定期的なフットパスイベントや研修会を開催する他、更なるフットパスの周知や協力団体確保に向けて、他ウォーキング団体等へイベント参加の呼びかけ、フットパス先進地である美里町（熊本県）より講師を呼び、フットパスや講演会を開催してフットパスの魅力を発信する。
事業展開	計画通り、美里フットパス協会と共に釧路で合同フットパス・フォーラムを開催（フットパス 50 名・フォーラム 32 名参加） 定期的なイベント開催を通じてガイドは育成されつつある。 今後も他の団体を積極的にイベントに招待し、交流を持ちながら良好な関係を築き、ガイドシステム構築のためにハード面（HP作成や受付方法）を整備していきたい。
成果目標の達成状況	ガイドシステム構築に向けて、合同フットパスや講演会を通じてフットパスガイドの知識やスキルが向上した他、沢山の方々に地域（元町）の魅力を発信することが出来た。
波及効果の達成状況	フットパスイベントを通じて地域住民や地域外の人々との交流が発生、今後は釧路教育大の授業として学生向けにフットパスを行う予定。
実施体制	運営主体としてくしろ元町フットパスを広め隊 連携先として地域住民、地元町内会、元町青年団、港文館
連携した市担当課	無 ・ 有 （ 総合政策部 市民協働課・室）
連携した市担当課が果たした役割（※有の場合）	市民協働推進課 長期滞在者へのイベント告知

2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	220,000	
自己資金		
イベント参加費	31,400	昼食付 700 円 × 41 名 = 28,700 円 フットパスのみ 300 円 × 9 名 = 2,700 円
合 計	251,400	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
謝礼	20,000	講師 2 名 10,000 円/人
旅費	123,525	講師宿泊費・交通費
印刷製本費	48,060	マップ印刷、コピー代
役務費	2,400	イベント保険代
使用料・賃借料	26,250	会場使用料費 (会議・講演会・懇親会)
小 計	220,235	
対象外経費		
昼食原材料費	12,067	8/31 昼食分
お菓子代	7,000	8/31 参加者へ配布
謝礼	5,000	司会分
デザイン料	5,000	チラシデザイン分
小 計	29,067	
合 計	249,302	